

## 平成22年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

### －開催地挨拶－



#### 松江市能海産業経済部長より松浦松江市長挨拶代読

平成22年度、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会の開催にあたり、開催地松江市を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日の総会には、北は北海道、南は九州から、日本海沿岸の港湾を核とした地域振興に取り組んでいらっしゃるネットワークの会員の皆さま方に松江にお越しいただきましたことに、心より歓迎を申し上げます。

さて、本市と隣接する境港市におきましては、昨年六月末に韓国の東海とロシアのウラジオストクを定期貨客船で結ぶDBSクルーズフェリーが就航したところでございます。

また、境港には、上海・大連・天津を結ぶ中国航路と、釜山を結ぶ韓国航路

の二つのコンテナ航路もすでに就航しております。

本市と致しましても、特に台湾やヨーロッパを中心に年間四十万本以上を輸出している八束町の牡丹をはじめとする特産品について、海外航路を活用し、さらに輸出の拡大を図りたいと考えております。

こうした取り組みを進めるうえで、この度のネットワークの総会、ならびに講演会・パネルディスカッションを通じて、会員の皆様と意見交換を行えますことは大変意義深いことと思っております。

さて、本日皆さまにお越しいただきました松江市は京都・奈良と並び、日本に三都市しかない「国際文化観光都市」でございます。

現在、平成十八年度の松江城築城開始400年を契機に、以降5年間にわたる「松江開府四百年祭」を展開中でございます。風光明媚な宍道湖や堀川、築城当時の姿を残す松江城、武家屋敷、そして市民生活に浸透しているお茶の文化など、ぜひこの機会に城下町松江らしい風情をお楽しみいただきたいと思います。

最後になりましたが、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク会員同士の交流・連携が進みますことと、本日お集まりの皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

平成22年10月22日

松江市長 松浦 正敬